

## 令和3年度宇治茶アカデミーを開校

当所は、宇治茶の情報発信拠点として、京都府内の茶生産者、流通・販売業者等を対象に、経営力や宇治茶の伝統や価値の発信力の向上、参加者の交流を目的として、令和3年度宇治茶アカデミー（全5回）を「時代の変化を意識して経営力を養う」をテーマにオンラインで開催しています。

11月25日開催の第1回は、38名の参加があり、京都市の老舗和菓子屋である亀屋良長（株）の吉村由依子氏から新商品開発について、「作り手の思いだけでなく消費者の望まれる商品を開発すること」、ネット販売アドバイザーである（株）たねをまくの高口大樹氏からECサイトでの効率的な農産物販売について、「販売開始1時間で商品が完売するためにすべきこと」などの講演を頂き、今後の経営に活かせることを意見交換しました。

受講者からは「お客様が商品を使うシチュエーションを想像しやすい商品作りをしていきたい」、「商品の魅力や希少性が一目で分かるコピーライティングなど購入したくなる仕組みを作っていきたい」などの感想がありました。

第2回は1月25日に福岡県八女市農業振興課の椎窓孝雄氏を講師に玉露の新たな可能性についての講演とグループワークを行います。



具体的な新商品を例に開発ポイントを確認  
(吉村由依子氏 講演)



販売する時のチェックポイントを確認  
(高口大樹氏 講演)